

インターネットと私

高14回卒 田村 志津枝

いつのまにか、インターネットの恩恵をずいぶんこうむっている。私は職業柄、とくに本に

関連して思う。本を注文すれば、翌日には手許に送られてくる。少し古い本でも、インターネット上にいく

つもある古書市場でたいいみつかる。都心の大型書店に向

くときは、事前に購入希望の本をメールで連絡しておけば、カ

ウンターでまとめて受け取れる。人込みが嫌いな私には、大助かりだ。

図書館でもそうだ。大学図書館や国会図書館なども、事前にホームページで検索すれば、必要な本が運悪く貸出中などということもない。請求番号や館内地図をたよりに、地上三階地下三階などという膨大な書棚のあいだをすいすい縫って、目当ての本に迷わず到達できる。

便利なのはいいが、そんなことをしていると現実のひととの接触は減るばかりではないか。そんな心配をする人も多いようだ。けれどインターネットの世界にも、思わぬ人間的な触れあいもあるものだ。

先日、中国で二十年ほど前に



出版された本が必要になった。日本・中国・台湾のめばしい大学図書館を数箇所検索してみたが、ない。古書市場にもない。中国書籍専門店数店に購入希望も出したが、品切れとの返事だった。

さてどうしよう、と考えていると、知らない人からメールが届いた。

「田村さんこんにちは。山田××です。お探しの本は、○○大学△△研究室研究書庫にあります」

差出人に心当たりはない。若い人は、メールの書き出しをこんなふうによく書ける人が多いようだ。親しげではあるが、知り合いとは限らない。けれど私のアドレスと、探している本のタイトルを知っているのだから、私が注文を出した書店の関係者なのだろう。

うれしいことに、彼の言うとおりの場所で、私はその本を閲覧することができたのだ。

プロフィール

〈筆者は、昭和37年上田染谷丘高校卒業。早大独文化を経てノンフィクション作家として活躍中。近著『若山牧水さびしかなし』(晶文社刊・定価一九〇〇円)は、人間牧水の知られざる面をドキュメント・タッチで鮮やかに描き出しており好評を博している。是非ご一読をお薦めします。〉

雑感 さあ!これからも張り切って

高12回卒 高野 美寿

私の姉妹は六人が染谷の門を潜り、戦争の辛い時期を跨いで昭和十六年から昭和四十年に末の妹の卒業迄、誰かしら在籍し大変お世話になった。私も今年六十五歳、国民年金受給の手続をする年齢となった。

「少年易老学難成、一寸光陰不可軽、未覚池塘春草夢、階前梧葉既秋声」

勉強嫌いの夢想家で、金魚の糞よろしくふらふら学友の最後部から食付いて辛うじて卒業したのだが、何故か漢文が好きで、授業のある日は機嫌良く、勝手に節を付けて大声張って唸りながら一人悦に入り、材木町、原町、海野町、馬場町、丸堀、新参町と廻り歩いて下校した。これが英語であつたら今頃はどんなにか……残念である。通りすがりの人々は、変な子だと訝った事だろう。とは言え結局のところは無味乾燥に笹呉れて生きていた。

一人だつてかまわない、出来なくつても大丈夫、私は私。これが家庭の躰だの親だの今この様に押し返されていたら狂っていたかも知れない。でも見てな、私にだつて良い所があるさ、きつと。まあ自画自賛してご褒美に草餅でも食べようか、成人病に気を付けて一個ね。

近頃世の中は地球規模で棘々しい事件や現象が報道され、安全の隙間を狙って遊び眩つている様な始末。果たして心からの喜びを語れるのだろうか。

と言いつ、何と今では、漢文



かぶれか生前父の酒の肴に聞かされた出征話の際の大陸の太陽の美しさ見たさの影響か、中国の同年代のおばさんや小供達との交流に頭を捻ったり草の根の理解を保てるように頑張っている。友人は自分の事考えたらあーと云うが、今の私に伸々と自分を主張する彼女達に接するのが心地良い。同じ時代を経験し、貧富の差のある抵抗感を感じず、に笑えあえる方が嬉しい。

側にも寄り難かつた優秀な級友が遙地に行つてしまわれた。役にも立たない私の様な者が残っている。漸く色々な質問が見えて来た所だつたのに悔やまれる。正に人生の悲しみを身を感じる事が多くなつて来た。手遅れにならぬ様、努力一途之最高としよう。

(年間活動報告)

平成17年

4月15日 会報発送

5月14日 東信連総会

6月1日 総会

6月25日 本部役員会

7月2日 同総連総会

10月22日 本部総会

12月13日 役員会

平成18年

1月8日 役員会

3月1日 役員会

三遊亭きん歌活動予定

一、内幸町タロ人会(きん歌独演会) 五月十八日・八月四日・十一月二十二日

二、新橋レッドベツパー新火曜寄席 毎月第二火曜日

三、テレビ埼玉 毎週土曜夜九時~十時

「オーディションTV」司会

※三月十一日、第五回さがみはら若手落語家選手権において五人の各予選勝ち抜き者で競つた結果、見事優勝されました。

半田淳子公演のお知らせ

2006年11月8日(水)

半田淳子 古代〜現代まで

琵琶りサイト

琵琶りサイト

紀尾井ホール

6:30開場 7:00開演

03-3262-7557

2007年3月

スイス バーゼルにて

琵琶りサイト

琵琶りサイト

中澤きみ子コンサートスケジュール

4月22日 「モーツァルト・ヴァイオリン協奏曲集」CD発売記念コンサート

5月13~14日 アルテ工房ヴァイオリンフェア「イタリア展」ミニコンサート 長野市 北野美術館

5月27~28日 アルテ工房ヴァイオリンフェア「イタリア展」ミニコンサート 長野市 北野美術館

イオリンフェア「イタリア展」ミニコンサート 東京サロンドユオ 7月19~31日 フランス・モンペリエ音楽祭 8月21~27日 NAGANO国際音楽祭 9月24・26・27・29・30日 スーパーワールドオーケストラ日本ツアー 11月17日 ドイツ/ボン「シューマン降誕150年記念リサイタル」 12月16・18日 イタリア/シチリアコンサート



湯の丸高原 レンゲツツジ

映画化されたのを機に「博士の愛した数式」(小川洋子)を読みました。八十分しか記憶もたない老数学者の物語で、ふつう一言で「ボケ」と片づけられてしまうような諸々の事態が、作者の理知的な文体で品良くまとめられているのに感心しました。短い記憶、遠い昔の記憶の中で精いっぱい生きていく人々の苦しさ、誠実さ、そして喜びがとてよく良く表現されていて、「人生」そのもののような気がします。映画はちなみに懐かしい、上田・室賀あたりが映し出されています。